

第42期

中間事業報告書

平成17年4月1日から平成17年9月30日まで



WATABE
WEDDING

ワタベウェディング株式会社

ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、有り難く厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第42期中間期（平成17年4月1日から平成17年9月30日まで）における事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当社グループは、国内外の挙式・衣裳・美容・写真・旅行・その他ブライダルに関わるあらゆるサービスを融合させ、ご提案する「トータル・ブライダル・ソリューション」という新しい業態の確立に全社を挙げて取り組んでおります。

時代の移り変わりとともに、多様化・個性化するお客様のニーズにしっかりと応えし、お客様のすべての不安や課題の解決に努め、さらに「すてきさ」という付加価値をつけ、お客様の「心」を大切にすることがサービスの原点であると考えております。

このような考えのもとに、透明性の高い事業活動を行い、社会に貢献できるよう全社一丸となって努めてまいりますので、株主の皆さまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年12月

代表取締役社長

渡部 隆夫

目次

□ ごあいさつ	1	□ 財務諸表の概要（連結）	13
□ 経営基本理念	2	□ 財務諸表の概要（単体）	15
□ 財務ハイライト（連結）	3	□ 国内・海外ネットワーク	16
□ 事業紹介	4	□ 株式情報	17
□ 特集	5	□ 会社概要	17
□ トピックス	7	□ 株主インフォメーション	18
□ 営業の概況	11		

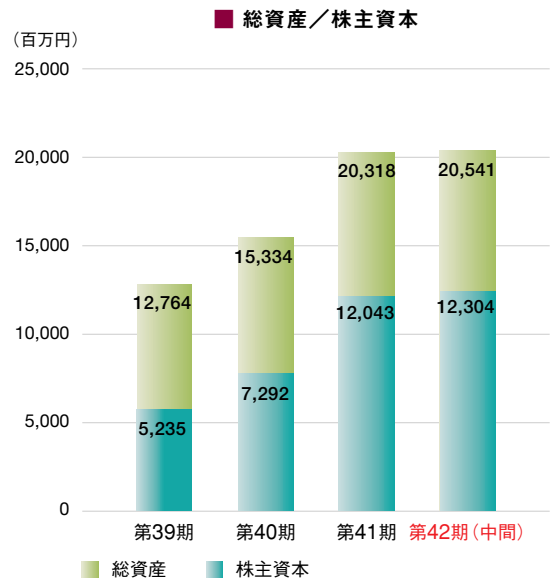
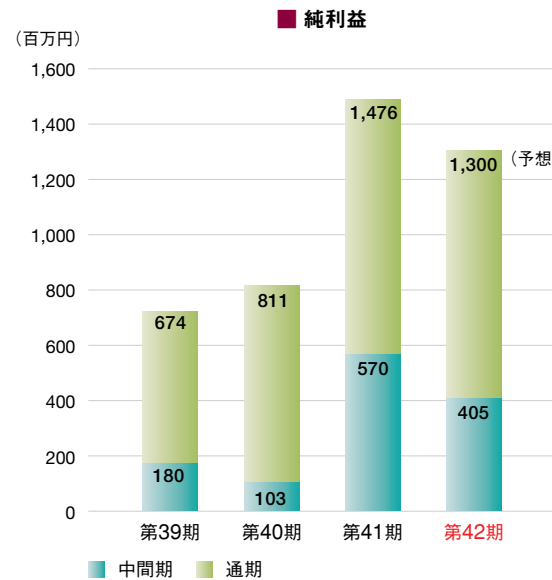
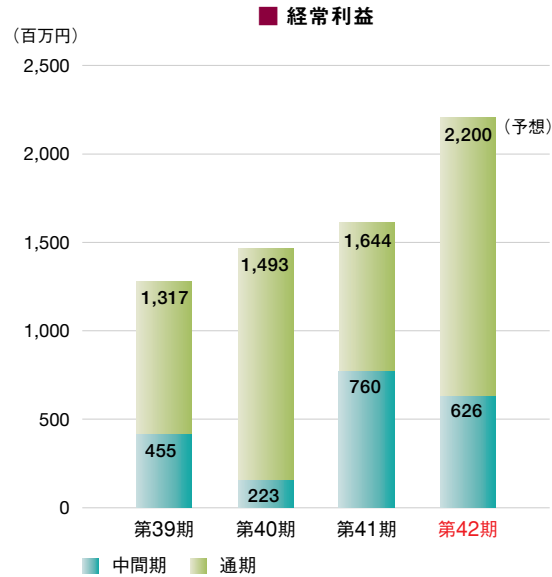
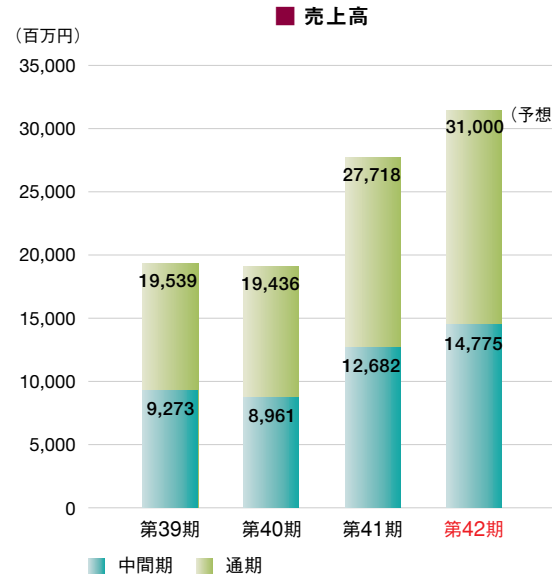
ワタベウェディングは、 「世界最高のブライダル企業を目指します」

経営基本理念

わたくしたちの目的は、真心の奉仕と知恵ある提案を通じて、
すてきな生活文化を創造し、心豊かな社会の実現に
貢献することにある。



財務ハイライト(連結)



事業紹介 -すてきな生活文化を提案するワタベワールド-

海外挙式サービス

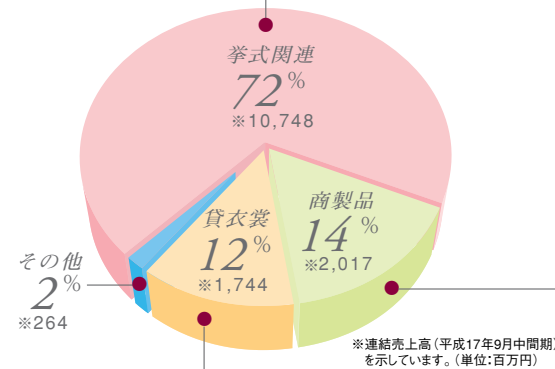


国内53店舗、海外19店舗のグローバルネットワークで海外14ヵ所の自社運営挙式施設を中心にサービスを提供。「日本人を海外へ」から「海外の人が地元で」、「海外の人を日本へ」と対象を拡大中。

国内挙式サービス



挙式スタイルの新提案としてのリゾートウェディングや都市型ウェディングに対応するため沖縄から北海道まで国内16ヵ所の自社運営挙式施設を中心にサービスを提供。



商製品



ドレス、タキシードは当社直営店で販売。タイムリーに顧客ニーズを分析し、新しいデザインを提供。また上海工場(「ISO9001」認証取得)製造を基盤にした製販一体の体制を確立し、当社独自の高品質・高付加価値を実現。

衣裳レンタル



和装中心の婚礼衣裳や列席者用衣裳を低価格でレンタル。打掛、留袖、カラードレスはカタログで予約でき、国内店舗では海外着用のウェディングドレスを試着、予約できるサービスを実施。

写真サービス



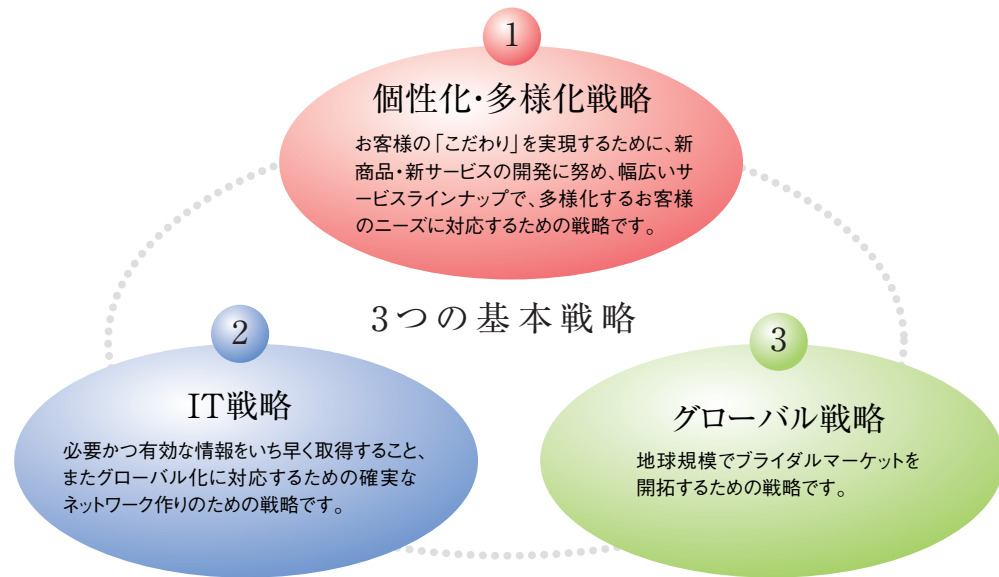
挙式日前後の婚写真撮影や、成人式、卒業式、七五三などの記念写真撮影を貸衣裳、美容・着付とセットにしたオリジナルフォトサービスを提供。

当社グループでは、「すてきな生活文化の創造」を経営基本理念として掲げています。ブライダルを取り巻く環境は、景気や流行により変化していきます。その変化を素早く察知し、常に新しい市場を開拓していくリーディングカンパニーでありたいと考えています。つまり、変化に対応するのではなく、変化を創造し、さらに「すてきさ」という付加価値を加えることにより、常にお客様に選ばれる企業でありたいと考えています。

■ブライダルは今、「こだわり婚」の時代に

国際化や情報化の進展、価値観の多様化、結婚年齢の分散化の傾向が強まることにより、十人十色・百人百様の個性的な結婚式への需要が高まっています。「ハデ婚」「じみ婚」に続く「オリジナル婚」「おもてなし婚」といった流行語になぞらえると、現在は、より自分たちらしい挙式を行いたいという「こだわり婚」の時代に突入したと考えられます。

■当社グループの掲げる3つの基本戦略



当社グループでは、「個性化・多様化戦略」「IT戦略」「グローバル戦略」の3つの基本戦略を掲げ、地域ごとに特色を活かしたハード面と、バラエティ豊かなサービスを提供するソフト面とを融合させた商品開発を推進し、「幸せのお手伝い」を主軸に業界のリーディングカンパニーとして世界をステージにした事業展開を図っていきます。

1

個性化・多様化戦略

当社グループでは、お客様が求める「こだわり婚」を実現するために必要なサービスを、ハード・ソフトともに取り揃えご提案しています。海外挙式をはじめ、国内における「リゾートウェディング」の提案や、「目黒雅叙園」や京都の神社仏閣などにおける「和」の挙式サービスの提案など、当社が見つけた新しいスタイルを形にし、ひとつの分野に特化しない、バランスのとれたビジネスモデルを構築してまいります。

2

IT戦略

当社グループでは、ITを有効に活用することにより、スムーズな挙式手配体制の構築とお客様への情報発信力を強化する環境を整備してまいります。ITの活用により、当社の国内外に広がる営業店舗と挙式施設の距離を縮めると同時に、当社が提携している旅行会社なども挙式手配をスムーズに行えるような独自のシステムを構築。社外販売チャネルの拡大も推進しています。また、顧客データベースの構築と適正な活用により、プレブライダルやアフターブライダルにおけるサービスを視野に入れたビジネスチャンスの拡大を図るとともに、販売促進に努めてまいります。

3

グローバル戦略

当社グループでは、地球規模でブライダルマーケットを開拓していきたいと考えています。東アジア、特に中国における経済発展に伴う購買力の向上は目覚ましく、これら新しい現地マーケットへの商品・サービスの提案に注力してまいります。上海においては、最高級5つ星ホテル「オークラガーデンホテル上海」内に総合ブライダルショップ「薇蒔(ウィズ)」をオープン。現地のカップルに日本風の新しい挙式サービスを提供しています。上海のカップルを沖縄の海の見えるチャペルへ送客するという、まさに“逆・海外挙式サービス”の提供など、現在までに培ってきた当社のネットワークを活かしたグローバルな展開を行ってまいりたいと考えています。



トピックス

■ 国内リゾート挙式事業を一層強化

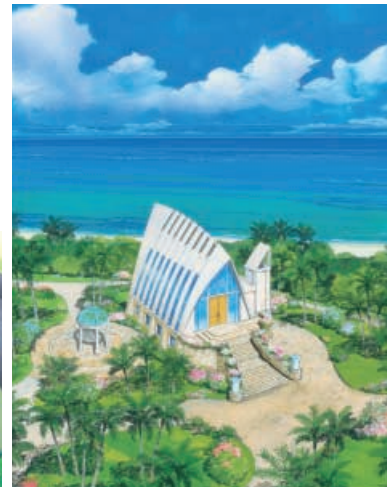
当社グループでは、国内での「リゾート挙式事業」を強化しています。これは、海外挙式で培ったノウハウを活かし「国内旅行+挙式」の新しいスタイルを提案、促進するもので、沖縄・北海道・軽井沢・京都などのリゾート地や観光地を中心に展開を図っています。国内リゾート挙式の魅力であるロケーションの素晴らしさに加え、パスポートの要らない気軽さ、観光資源の豊富さにより、家族・友人で楽しむアットホームなスタイルが支持されています。

■ 急成長の沖縄挙式:平成18年春、第2(石垣島)、第3(読谷村)のチャペルを続々新設予定!

平成16年4月にオープンした「アクアルーチェ・チャペル」(恩納村)では、当初計画の倍近くの約1,000組の挙式を実行し、マーケット自体もこの6年間で17.5倍と3,500組にまで拡大し、急成長する沖縄リゾート挙式人気の牽引役となっています。益々高まる沖縄リゾート挙式需要に対し、希望に応じた挙式ラインナップを強化するため、平成18年3月には南十字星の名を冠した「クルデスール・チャペル」(石垣市)を、同年5月には、読谷村に“チャペル+バンケット”一体型の当社初の直営総合挙式施設「読谷 ビーチサイドチャペル(仮称)」の新設を予定しています。これら3チャペルでの挙式などにより、平成18年3月期は、沖縄リゾート挙式の当社取り扱い件数を約2,500組まで引き上げる予定です。



「読谷ビーチサイドチャペル(仮称)」



「クルデスール・チャペル」

■ 国内最大マーケット軽井沢に進出:「軽井沢クリークガーデン」オープン!



平成17年6月、年間約7,000組を有する国内リゾート挙式の最大マーケットである軽井沢に進出、「軽井沢クリークガーデン」をオープンしました。自然との調和をテーマに、むくの木材とガラスを中心に作られた、他に類を見ないデザインの施設です。側面を開放できるチャペルは、迫力のある一枚ガラスが圧倒的な存在感を示しています。苔庭の中を自然の小川(クリーク)が流れ、軽井沢ならではの四季を堪能できる“フォーシーズン・ウェディング”を提案しています。

■ グアム進出10周年、新企画続々登場で需要促進

2004年、海外挙式の組数は43,704組(対前年比108.3%)、総婚姻組数における海外挙式比率も6.1%(0.6ポイント上昇)とV字回復に転じました(当社発表「2004年海外挙式動向調査」より)。

中でもミクロネシア(グアム、サイパン)が人気で、海外ウェディング市場の2割以上を占めるまでに成長し、近年では年間1万組以上ものカップルが挙式を行い、この10年間で4倍の伸びを示しています。

当社グループでは、レセプション会場ラインナップの充実を図るため、2005年10月1日にグアム初の直営レセプション会場「Te quiero(テ・キエロ)」をオープンしました。2006年3月期中には取り扱い組数700組、売上高約1億1,000万円を計画しています。



「Te quiero(テ・キエロ)」



「Te quiero(テ・キエロ)」



「ディラネーロ・チャペル」



「セント・レオ・チャペル」



来期オープン予定のレセプション一体型挙式施設

また、株式会社レオパレス21とグアムの婚礼事業全般で業務提携し、同社が展開する「セント・レオ・チャペル」「ディラネーロ・チャペル」を、2006年1月1日から当社グループで運営を開始します。同チャペルを直営挙式施設に加えることで、全国の当社営業店舗からの送客が可能となり、グアムに対するより一層の需要促進を図ります。初年度(2007年3月期)は、取り扱い組数1,200組、売上高約6億5,000万円を計画しています。

さらに来期には、タモン湾沿いにチャペルとレセプション会場が一体となった大型の総合挙式施設のオープンを予定しています。お客様へ「すてきな挙式」の選択肢を広げることで、エリアの活性化を図るとともに、海外挙式マーケットの拡大に取り組んでまいります。

■ 生産拠点の二極化、ベトナム工場稼働へ

現在、中国・上海における「ウェディングドレス縫製」「アルバム製造」「婚礼用品製造」「タキシード縫製」の4つの工場が当社グループの生産の拠点となっていますが、2003年のSARS発生や今年7月の人民元切上げなどにより、中国一極に集中した事業展開におけるリスクが懸念され、その分散と欧米・アジア市場への進出を図るため、2006年夏、ベトナムにウェディングドレス縫製工場を稼働させる予定です。ベトナムはアメリカとの貿易に関し友好的な関係を保っており、特に欧米向けについては立地の優位性を活かし、安定した商品供給を行うことが可能となります。またベトナム工場では、中国において培われた「ISO9001」認証取得のノウハウと実績を最大限活用し、ベトナム刺繍などに見られる手先の器用さを活かし、高品質の商品を提供してまいります。そして、中国より割安な労働コストにより製品原価率を下げ、総利益の拡大をもたらす新しい生産拠点として起動します。



■ 日本初、「レンタルカラードレスカタログ」発刊

日本初となるレンタルカラードレスのカタログ通販を平成17年6月より開始しました。既に発刊している「留袖カタログ」「和装打掛カタログ」に続くカタログ通販の第3弾となります。商品の一括管理により在庫の圧縮と接客の合理化を図り、コストダウンを実現。市価の約4割安の価格でご利用可能なため、お客様の好評を博しています。



■ 中国・上海に自社直営タキシード工場新設

お客様の衣裳ニーズの多様化が進む中、男性用婚礼衣裳についても、商品の充実、デザイン・品質へのこだわりを実現することを目的に、2005年6月、中国・上海にタキシード縫製工場を新設しました。自社で企画から生産・販売までの一貫体制を築くことにより、正確な納期管理と総コストの抑制を実現。さらなる利益率の向上により、婚礼衣裳事業の強化を図ってまいります。



■ 総合ブライダルショップ続々誕生

当社グループが取り組む「トータル・ブライダル・ソリューション」の一貫として、当社では営業店舗の総合化を進めています。

グループ全体として、国内外での挙式・披露宴、ウェディングドレス・タキシードの販売やレンタル、美容・着付、婚礼写真、新婚旅行、2次会・帰国後パーティといった個々のサービスを、お客様の立場を最優先に考え総合的にご提供することで、お客様の負担の軽減や夢の実現のお手伝いをさせていただきたいと考えています。同時に、お客様の利便性を考慮し、これらの商品・サービスを1カ所でご提供・ご提案できるように、グループの国内外ネットワークとその連携を充実させています。そして創業50年を超える経験と実績をもとに、婚礼スタイルの選択肢を幅広くご用意し、お客様の求められる挙式スタイルに応じたご相談ができるように、スタイルやサイズの品揃えを充実させた衣裳サロン、最新技術を取り入れた写真撮影スタジオ、期近な挙式やお手頃な挙式にも対応できる店舗内挙式場（アヴェニール・チャペル）などを完備した「総合店舗」の展開を推進しています。

前期は広島、奈良、当期は福岡、札幌において、既存の営業店舗の移転・増床により、周辺エリアの旗艦店としてご提供できるサービスの幅を広げた「総合店舗」へリニューアルさせました。今後は、都心や地方中核都市への積極的な「総合店舗」の新規出店によりネットワークの拡大を図ると同時に、地域に密着したエリア全般の婚礼需要の掘り起こし、拡大を図ってまいります。



「福岡グランドプラザ」外観



打ち合せ風景



「ドレスサロン」



和装も充実



写真スタジオ撮影風景



「アヴェニール・チャペル」

営業の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、好調な企業業績に支えられ設備投資は大幅に増加し、製造業を中心に先行きの堅調さが伺えるところまで回復してきました。しかし、これらは企業の長年に亘るリストラクチャリング努力の結果に負うところが大きく、個人消費はやや明るさが見えて来たとはいえ、本格的な回復にはいまだ少し時間を要するものと思われます。

ブライダルマーケットにおきましては、挙式スタイルに対するお客様の選択の厳しさが増し、挙式をされる二人中心の挙式スタイルが一般化しており、お客様の嗜好の変化に確実に応え得る商品づくりとサービスの提供、向上における競争はますます激化いたしております。

この様な経営環境のなか、当社グループにおきましては、トータル・ブライダル・ソリューションの確立を図るべく、お客様満足度の向上・感動の最大化の実現に向けて、経験豊かな海外挙式サービスのノウハウを最大限に活かし、国内のリゾート地における挙式を提案すべく、沖縄ほか各地に式場の開発を進めております。

国内挙式戦略としましては、平成17年6月、長野県軽井沢の旧軽井沢銀座に「軽井沢クリークガーデン・チャペル」を開堂し、首都圏・名古屋圏・近畿圏をはじめとして全国の直営各店舗において、軽井沢挙式の販売を開始いたしました。また、昨年経営権を取得しました東京都目黒区の総合結婚式場「目黒雅叙園」は、披露宴会場のリニューアルを順次取り行い、創業77周年を迎えてシティリゾートの拠点と位置づけて、施設全体を使った写真撮影プランなど新しい商品を提案して、挙式数の増加とともに好調に推移しております。

店舗展開戦略としましては、平成17年7月に福岡店を九州一の繁華街天神地区に移転・増床し、小さなチャペルと写真スタジオを備えた、トータル・ブライダル・ソリューションを提供できる総合店舗とし、九州における旗艦店「福岡グランドプラザ」としてオープンいたしました。

海外挙式戦略としましては、平成17年4月、オーストラリアにおける挙式エリアとして人気の沸騰しておりますケアンズのバリアリーフ教会を改修し、リゾート地ゴールドコーストの教会に匹敵する人気の教会として支持を得ております。同年5

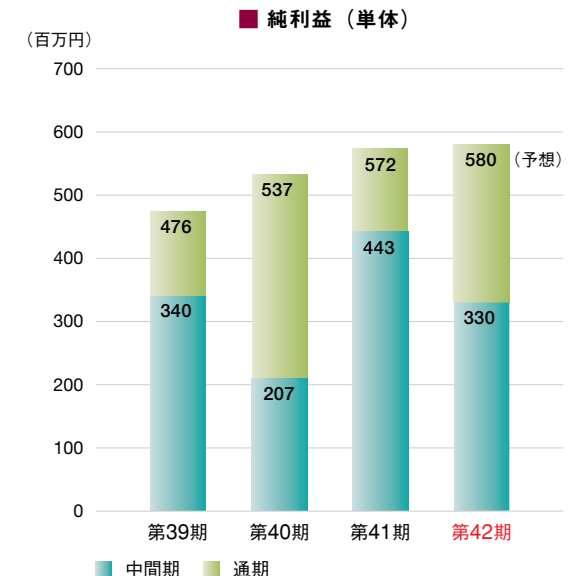
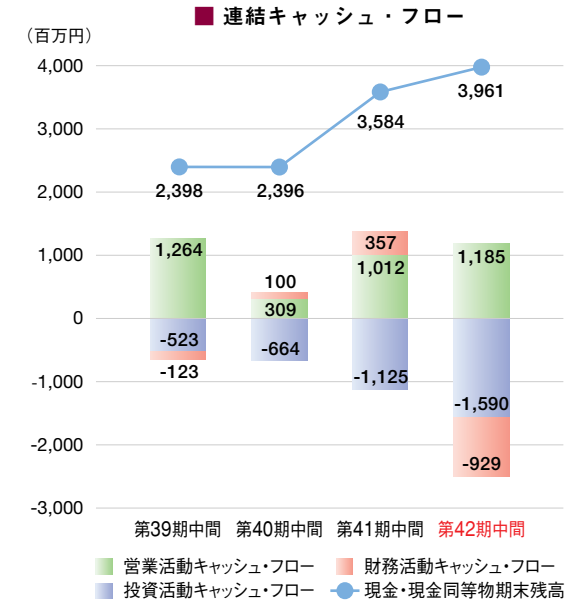
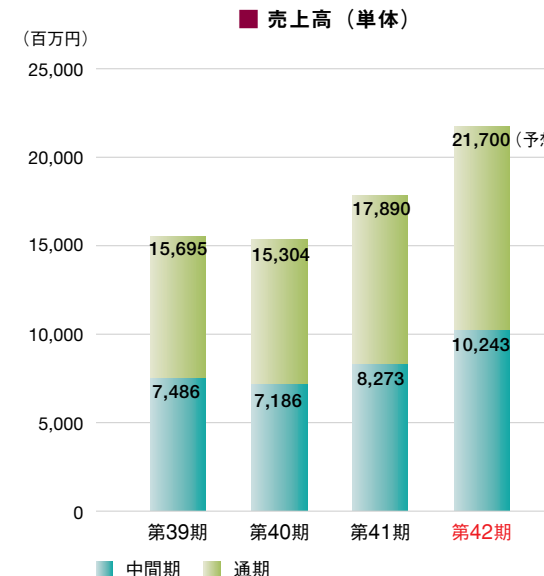
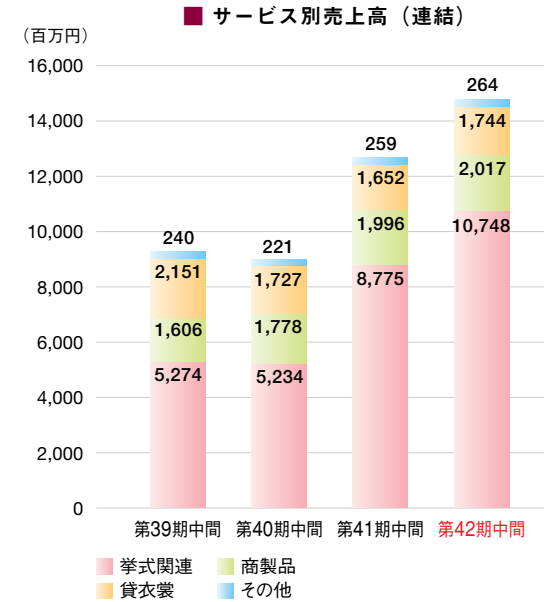
月にはインドネシア・バリ島の挙式者をアテンドする店舗をオープンいたしました。10月に爆破テロ事件があり現在は営業活動をひかえております。挙式を予定されていたお客様はハワイをはじめとした当社海外挙式拠点への変更が順調に進み業務上の影響はありません。

商品戦略としましては、「和」回帰の傾向が高まる中、和装を着用した和の挙式に対する若い人達の感性に合致した挙式スタイルとして、日本各地の有名神社仏閣における挙式プラン「華絵巻」を開発し、特に京都の神社などにおける挙式は「都絵巻」と銘打った挙式商品を造成して販売を開始しました。

また、平成17年6月より日本で初めてとなるカタログ通販方式のカラードレスレンタルを開始いたしました。多様化する国内挙式マーケットのお客様への対応及び当社の出店地域外のお客様に対する利便性の向上を図るべく、全200種類の品揃えにより21世紀型のカタログレンタル方式として、見やすさ・選びやすさにこだわりトータル・ブライダル・ソリューションの一環として新しい提案を開始いたしました。

以上の施策展開の結果、当中間連結会計期間の業績は、国内挙式の取扱組数が3,058組（前年同期比52.2%増）と大幅増となり、ドレスの販売着数や写真サービスなども好調に推移したことにより、海外挙式事業の若干の減少をカバーし、売上高は14,775百万円（前年同期比16.5%増）と大幅に増加いたしました。一方利益面では、海外における提携挙式施設の利用数の増加と国内における安価な挙式パッケージの予想以上の販売数の伸びにより売上総利益率が低下したため、販売費及び一般管理費の削減に努めたものの営業利益605百万円（同8.0%減）、経常利益626百万円（同17.6%減）、中間純利益405百万円（同28.9%減）となりました。なお、本年度のブライダルマーケットにおける婚姻届出組数は70万組程度と推測されます。また、海外挙式組数は回復途上にあり、年間4万7千組程度と予測しております。

当社グループは引続きトータル・ブライダル・ソリューションの品質を高め、お客様満足度の向上を図り、国内・海外ともに感動あふれる挙式の提案に取り組んでまいります。



財務諸表の概要(連結)

中間連結貸借対照表(単位:百万円)

科目	当中間期 (平成17年9月30日現在)	前中間期 (平成16年9月30日現在)	前期 (平成17年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産	6,823	6,196	7,794
現金及び預金	4,269	3,876	5,534
売掛金	919	948	804
たな卸資産	745	583	661
前払費用	530	442	402
未収入金	66	102	98
繰延税金資産	231	242	144
その他	98	52	181
貸倒引当金	△ 36	△ 52	△ 33
固定資産	13,717	11,663	12,524
1 有形固定資産	9,310	7,514	8,146
貸衣裳	272	218	261
建物及び構築物	5,547	3,937	4,578
器具備品	1,295	1,053	1,222
土地	1,730	1,763	1,763
その他	464	541	320
無形固定資産	221	207	225
投資その他の資産	4,185	3,941	4,152
投資有価証券	435	584	621
長期前払費用	266	310	259
差入保証金	2,641	2,443	2,532
繰延税金資産	342	111	220
再評価に係る繰延税金資産	364	364	364
その他	386	389	402
貸倒引当金	△ 251	△ 262	△ 248
資産合計	20,541	17,860	20,318

point 1

軽井沢の挙式施設、グアムのレセプション会場の新設、福岡グランドプラザの開設等で有形固定資産が前期末より1,164百万円増加しました。

point 2

本年6月の定時株主総会終了時をもって、役員退職慰労金を廃止しました。

科目	当中間期 (平成17年9月30日現在)	前中間期 (平成16年9月30日現在)	前期 (平成17年3月31日現在)
(負債の部)			
流動負債	6,400	7,465	6,115
買掛金	1,334	1,281	1,240
短期借入金	143	889	174
1年以内返済予定長期借入金	861	1,187	1,345
未払金	885	1,108	840
前受金	2,289	2,091	1,849
賞与引当金	284	265	250
その他	602	641	414
固定負債	1,834	2,558	2,159
長期借入金	948	1,809	1,240
退職給付引当金	135	148	164
2 役員退職慰労引当金	—	316	325
連結調整勘定	145	—	161
その他	605	283	267
負債合計	8,234	10,023	8,274
(少数株主持分)	1	189	—
少数株主持分	1	189	—
(資本の部)			
資本金	4,105	2,307	4,099
資本剰余金	3,966	2,170	3,960
利益剰余金	4,577	3,510	4,327
土地再評価差額金	△ 524	△ 524	△ 524
その他有価証券評価差額金	170	256	279
自己株式	△ 0	△ 0	△ 0
為替換算調整勘定	9	△ 72	△ 98
資本合計	12,304	7,647	12,043
負債、少数株主持分及び資本合計	20,541	17,860	20,318

中間連結損益計算書(単位:百万円)

科目	当中間期 (平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで)	前中間期 (平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで)	前期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)
3 売上高	14,775	12,682	27,718
4 売上原価	5,579	4,676	10,218
4 売上総利益	9,196	8,005	17,499
販売費及び一般管理費	8,590	7,347	15,876
営業利益	605	658	1,622
営業外収益	63	134	85
営業外費用	43	32	63
経常利益	626	760	1,644
5 特別利益	87	317	455
特別損失	50	68	119
税金等調整前中間(当期)純利益	662	1,009	1,980
法人税、住民税及び事業税	385	440	476
法人税等調整額	△ 127	△ 38	△ 64
少数株主利益(△損失)	△ 1	37	91
中間(当期)純利益	405	570	1,476

point 3

国内挙式の取扱組数が3,058組(前年同期比52.2%増)と大幅増となり、ドレスの販売着数や写真サービスなども好調に推移したことにより、売上高は前年同期比16.5%増と大幅に増加しました。

point 4

海外における提携挙式施設の利用数の増加と国内における安価な挙式パッケージの予想以上の販売数の伸びにより売上総利益率が低下しました。

point 5

保有有価証券の売却益が縮小したため特別利益が前年同期に比べ減少しました。

中間連結剰余金計算書(単位:百万円)

科目	当中間期 (平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで)	前中間期 (平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで)	前期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高	3,960	2,127	2,127
資本剰余金増加高	6	43	1,833
増資による新株の発行	—	—	1,762
新株予約権の行使による新株の発行	6	43	70
資本剰余金中間期末(期末)残高	3,966	2,170	3,960
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高	4,327	3,059	3,059
利益剰余金増加高	405	570	1,476
中間(当期)純利益	405	570	1,476
利益剰余金減少高	156	120	208
配当金	127	120	208
役員賞与金	28	—	—
利益剰余金中間期末(期末)残高	4,577	3,510	4,327

中間連結キャッシュ・フロー計算書(単位:百万円)

科目	当中間期 (平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで)	前中間期 (平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで)	前期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,185	1,012	1,844
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,590	△ 1,125	△ 2,649
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 929	357	2,733
現金及び現金同等物に係る換算差額	53	32	6
現金及び現金同等物の増加(△減少)額	△ 1,280	277	1,935
現金及び現金同等物の期首残高	5,242	3,307	3,307
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	3,961	3,584	5,242

財務諸表の概要(単体)

中間貸借対照表(単位:百万円)

科目	当中間期 (平成17年9月30日現在)	前中間期 (平成16年9月30日現在)	前期 (平成17年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産	4,158	3,838	5,354
1 現金及び預金	2,122	1,876	3,667
売掛金	713	880	650
たな卸資産	264	213	222
その他	1,069	1,367	822
貸倒引当金	△ 11	△ 500	△ 8
固定資産	13,422	11,695	12,428
有形固定資産	7,709	6,293	6,831
貸衣裳	215	174	212
建物	4,847	3,498	3,994
器具備品	772	581	697
土地	1,730	1,730	1,763
その他	143	308	163
無形固定資産	159	117	166
投資その他の資産	5,553	5,283	5,430
投資有価証券	1,529	1,586	1,666
差入保証金	2,292	2,103	2,212
その他	2,186	2,047	2,000
貸倒引当金	△ 455	△ 454	△ 449
資産合計	17,581	15,533	17,783

中間損益計算書(単位:百万円)

科目	当中間期 (平成17年9月30日まで)	前中間期 (平成16年9月30日まで)	前期 (平成17年3月31日まで)
2 売上高	10,243	8,273	17,890
売上原価	5,041	4,089	8,773
売上総利益	5,201	4,183	9,117
販売費及び一般管理費	4,978	3,914	8,662
営業利益	223	269	454
営業外収益	292	304	264
営業外費用	29	24	48
経常利益	485	549	671
特別利益	87	314	442
特別損失	52	165	177
税引前中間(当期)純利益	520	698	936
法人税、住民税及び事業税	200	331	174
法人税等調整額	△ 10	△ 76	189
中間(当期)純利益	330	443	572
前期繰越利益	594	460	460
中間配当額	-	-	88
中間(当期)未処分利益	925	904	944

科目	当中間期 (平成17年9月30日現在)	前中間期 (平成16年9月30日現在)	前期 (平成17年3月31日現在)
(負債の部)			
流動負債	5,021	5,816	4,986
買掛金	1,339	1,195	1,216
1年以内返済予定長期借入金	861	1,187	1,345
前受金	1,924	1,698	1,649
その他	896	1,734	774
固定負債	1,443	2,323	1,758
長期借入金	948	1,809	1,240
退職給付引当金	42	49	62
その他	452	464	456
負債合計	6,464	8,139	6,744
(資本の部)			
資本金	4,105	2,307	4,099
資本剰余金	3,966	2,170	3,960
利益剰余金	3,398	3,183	3,224
土地再評価差額金	△ 524	△ 524	△ 524
その他有価証券評価差額金	170	256	279
自己株式	△ 0	△ 0	△ 0
資本合計	11,116	7,393	11,039
負債及び資本合計	17,581	15,533	17,783

point 1

軽井沢挙式施設の新設などの設備投資等により現金及び預金が前期末より1,545百万円減少しました。

point 2

挙式施設の新規開設等により国内挙式の取扱組数が大幅増となり、ドレスの販売着数や写真サービスなどにも波及し好調に推移したことにより、売上高は大幅に増加しました。

国内・海外ネットワーク

(平成17年9月30日現在)

●: 国内店舗 ●: 海外店舗 ▲: 挙式施設

北海道地区

- 札幌店
- 函館店
- ▲アフィーテ函館

東北地区

- 宮城県
- 仙台店
 - 仙台東口店

関東地区

- 東京都
- 東京グランドプラザ
 - 銀座サロン
 - 新宿グランドプラザ
 - 新宿サロン
 - 麹町店
 - 竹芝店
 - 立川店
 - 青山店
 - ▲日黒雅叙園
 - ▲アフィーテ目黒
- 神奈川県
- 横浜グランドプラザ
 - 横浜ポートサイド店
 - ヨコハマスカイ店
 - ▲アフィーテ葉山
 - ▲クリスタル グレイス チャペル
- 千葉県
- 千葉店
 - 千葉みなと店
 - ユーカリが丘店
- 埼玉県
- さいたま新都心店
 - 大宮店

甲信越・北陸地区

- 石川県
- 金沢店
- 長野県
- ▲軽井沢クリークガーデン
 - 軽井沢店

東海地区

- 愛知県
- 名古屋グランドプラザ
 - 名古屋栄店
- 静岡県
- 静岡店
 - ▲伊豆高原教会

関西地区

- 京都府
- 京都グランドプラザ
 - 三条店
 - 四条河原町店
 - 「ワタベファミリークラブ」京都店
 - ▲カーニバルタイムズ
 - ▲桜鶴苑
- 大阪府
- 大阪グランドプラザ
 - 梅田店
 - 守口店
 - 大阪IMP店
 - 「ワタベファミリークラブ」枚方店
 - ▲セント・アヴェンヌ教会
 - ▲ワナファンガーデン
- 兵庫県
- 神戸グランドプラザ
 - 三ノ宮店
 - ▲みなと異人館
 - ▲神戸北野サッスーン邸
 - ▲マーチュア・ガーデン神戸
- 奈良県
- 奈良店
 - ▲カームサイド奈良
- 滋賀県
- 滋賀グランドプラザ
 - 大津店
 - 今津店
 - なぎさ店
 - 八幡店
 - 草津店

中国地区

- 広島県
- 広島グランドプラザ
 - 広島北口店
 - 「ピアンキ スポージ」広島店
- 岡山県
- 岡山店

九州・沖縄地区

- 福岡県
- 福岡グランドプラザ
- 鹿児島県
- 鹿児島店
- 沖縄県
- 那覇店
 - ▲アクアルーチェ・チャペル

ハワイ

- ホノルル店
- マウイ店
- コナ店
- ▲コオリナ・チャペル・ブレイス・オブ・ジョイ
- ▲アクアベル・フレ・マリナー・コオリナ・ブルー・ジュ
- ▲ジョン・ドミニス・チャペル・バイ・ザ・シー
- ▲アロハ・ケ・アクア・チャペル
- ▲ホ・アオ

北米

- ラスベガス店
- バンクーバー店

ヨーロッパ

- パリ店
- ロンドン店
- フィレンツェ店

ミクロネシア

- グアム店
- サイパン店
- ▲セント・プロバス・ホーリー・チャペル
- ▲サンビトレス・ベイサイド・チャペル
- ▲セント・グレイス・バイ・ザ・シー
- ▲セント・アンジェロ・チャペル

オセアニア

- ゴールドコースト店
- シドニー店
- ケアンズ店
- クライストチャーチ店
- タヒチ店
- ▲アヴィカ・ウェディング&リゾート
- ▲メルストニアン・チャペル
- ▲サンクチュアリー・コープ・チャペル
- ▲バリアリーブ・チャーチ

中国

- 薇葺花園店
- ▲花園飯店「アイリスの間」

株式情報

(平成17年9月30日現在)

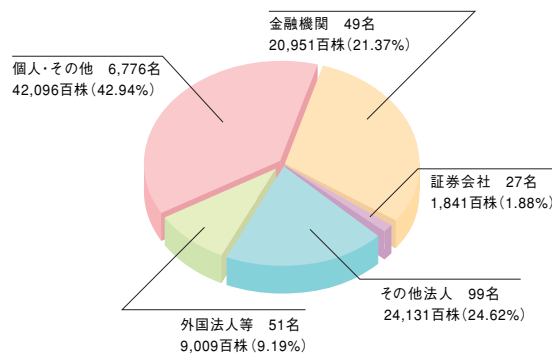
株式の状況

1. 会社が発行する株式の総数	22,000,000株
2. 発行済株式の総数	9,802,800株
3. 株主数	7,002名
4. 大株主	

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
株式会社寿泉	2,005,400	20.45
日本スタートラスト信託銀行株式会社	600,200	6.12
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	344,100	3.51
渡部 隆夫	290,500	2.96
ワタベウェディング従業員持株会	269,200	2.74
有限会社シュー	200,000	2.04
野村信託銀行株式会社	190,700	1.94
渡部 泰男	183,000	1.86
渡部 義夫	178,300	1.81
モルガンスタンレーアンドカンパニーインターナショナルリミテッド	109,400	1.11

(注) 上記信託銀行の持株数は、すべて信託業務に係るものであります。

〈所有者別分布状況〉



会社概要

(平成17年9月30日現在)

ワタベウェディング株式会社

- 本店所在地
京都市下京区烏丸通仏光寺上る
二帖半敷町671番地
- 設立
昭和39年10月3日
- 資本金
41億511万7,500円
- 従業員数 ※契約社員は含まれておりません
(単体) 426名
(連結) 1,310名
- 支社
ハワイ支社
オーストラリア支社
- 国内関係会社
株式会社目黒雅叙園
沖縄ワタベウェディング株式会社
イルフィーロ株式会社※
クアント株式会社
ワタベファミリークラブ株式会社
- 海外関係会社
WATABE U.S.A.,INC.
WATABE AUSTRALIA PTY. LTD.
WATABE SAIPAN,INC.
WATABE GUAM,INC.
WATABE EUROPE S.A.R.L.
WATABE U.K. LTD.
WATABE WEDDING CANADA,INC.
P.T. WATABE BALI
華徳培婚紗(上海)有限公司
上海華徳培唯婷婚禮服務有限公司
上海先衆貿易有限公司
華徳培婚禮服務(上海)有限公司
華徳培婚禮用品(上海)有限公司

※ワタベウェディングは、平成18年2月1日を合併期日としてイルフィーロを吸収合併し、同社は解散いたします。

株主インフォメーション

■ 株主優待の権利確定日について

当社は、毎年3月末日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載された、100株以上ご所有の株主様に年1回当社のサービスにご利用いただける株主ご優待券を贈呈しております。

※株主ご優待に関するお問い合わせ先

ワタベウェディング株式会社 株式課 TEL 075-352-4111(代)

ホームページ <http://www.watabe-wedding.co.jp/watabe/ir/stockholder/info.html>

■ 配当金はお早めにお受け取りください

郵便振替支払通知書による配当金のお受け取り期間は、平成18年1月4日までとなっております。郵便振替支払通知書をご持参の上、お近くの郵便局でお早めにお受け取りください。

■ お受け取り期間が過ぎてしまった場合

お受け取り期間を過ぎますと、郵便局でのお受け取りができなくなります。三菱UFJ信託銀行の本支店窓口でお受け取りになるか、郵便振替支払通知書の裏面記載のお受け取り方法欄に必要事項をご記入の上、三菱UFJ信託銀行証券代行部までご郵送ください。

■ 郵便振替支払通知書を紛失された場合

三菱UFJ信託銀行証券代行部までご連絡ください。なお、支払の手續に時間を要しますので、あらかじめご了承ください。

■ 銀行振込指定のおすすめ

郵便振替支払通知書による配当金のお受け取りは、お忘れになることもありますので、安心・確実な銀行振込によるお受け取り方法をおすすめします。詳しくは三菱UFJ信託銀行証券代行部までお問い合わせください。

株式事務に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
フリーダイヤル 0120-094-777
(受付時間 土・日・祝日を除く9:00~17:00)

※当社の名義書換代理人「UFJ信託銀行株式会社」は、合併により、平成17年10月1日から「三菱UFJ信託銀行株式会社」となりました。配当金の支払い、名義書換等のお手続きは三菱UFJ信託銀行株式会社の全国本支店で承ります。

〈中間事業報告書の内容に関するお問い合わせ先〉

ワタベウェディング株式会社 株式課
TEL 075-352-4111(代)

株主メモ

決算期	毎年3月31日(年1回)
定時株主総会	毎年6月中
利益配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 大阪証券取引所市場第一部
1単元の株式の数	100株
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問い合わせ先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料) 0120-094-777
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 野村證券株式会社 全国本支店

○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行のフリーダイヤル
およびインターネットでも24時間承っております。

電話(通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部)
0120-684-479 (大阪証券代行部)

インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>



WATABE
WEDDING

ワタベウェディング株式会社

本社 〒600-8540 京都市下京区烏丸通仏光寺上る二帖半敷町671番地
TEL (075) 352-4111 (代) FAX (075) 352-4139 (代)

<http://www.watabe-wedding.co.jp>